

8-11 紀伊半島南部～四国の地下水観測結果（2006年2月～4月）

The Variation of the Groundwater Level in southern Kii Peninsula and Shikoku (February 2006 – April 2006)

産業技術総合研究所
Geological Survey of Japan, AIST

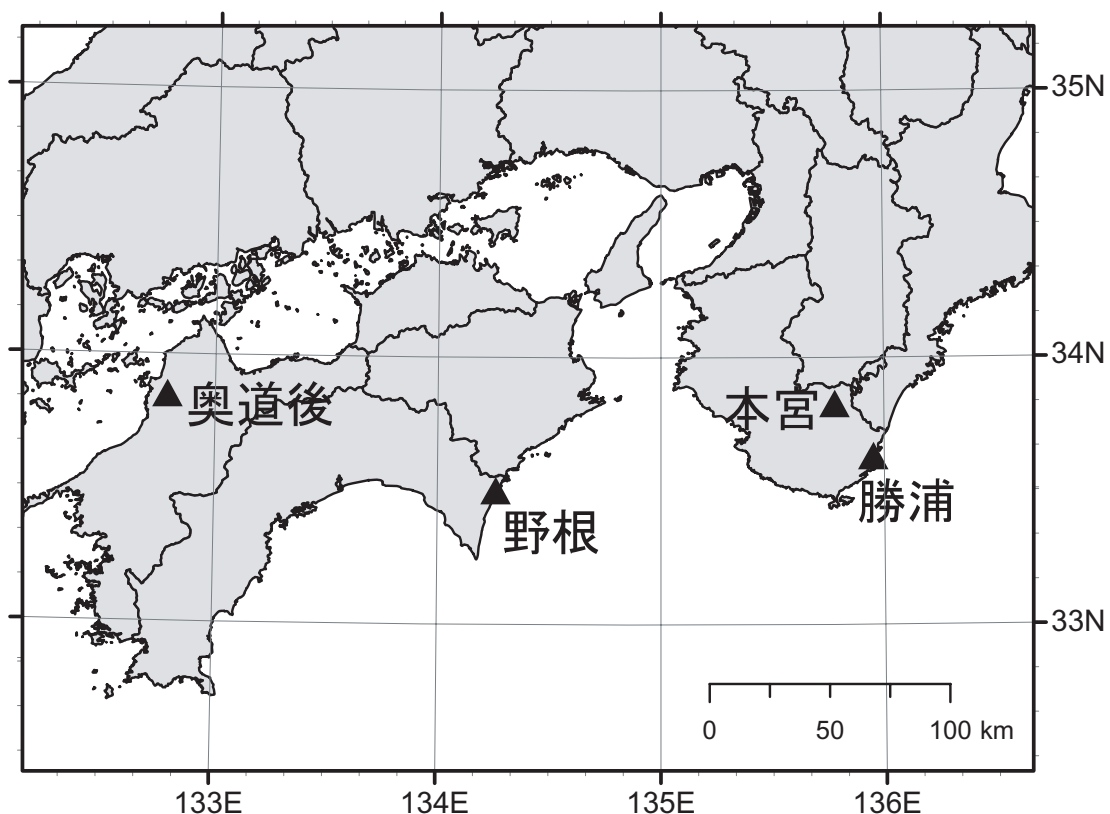
産総研では2006年1～2月から、紀伊半島南部～四国の3観測（勝浦・野根・奥道後）において、既存井戸を利用した地下水連続観測を開始した。また、本宮観測井では新たに気圧・雨量の測定を開始した。第2～5図に、これら4観測井における2005年2月～5月の地下水観測結果を紹介する。

勝浦観測井（第2図）においては、海岸に近い海洋潮汐の影響を強く受けており、水位は海面と同程度である。図中K1とK2の箇所で大雨に伴い水位が上昇しているが、同時に水温が低下しているため雨水の混入が予想される。

野根観測井（第4図）においては、N1～3の箇所で大雨に伴い水位が管頭に達している。N1とN3は水温に大きな変化がなく、降雨と水位上昇に数時間の遅れがあるため、谷底に位置する観測井周辺に数時間かけて周辺の降雨が集まり、その荷重によって水位が上昇していると考えられる。N2については、雨水の混入が予想される。

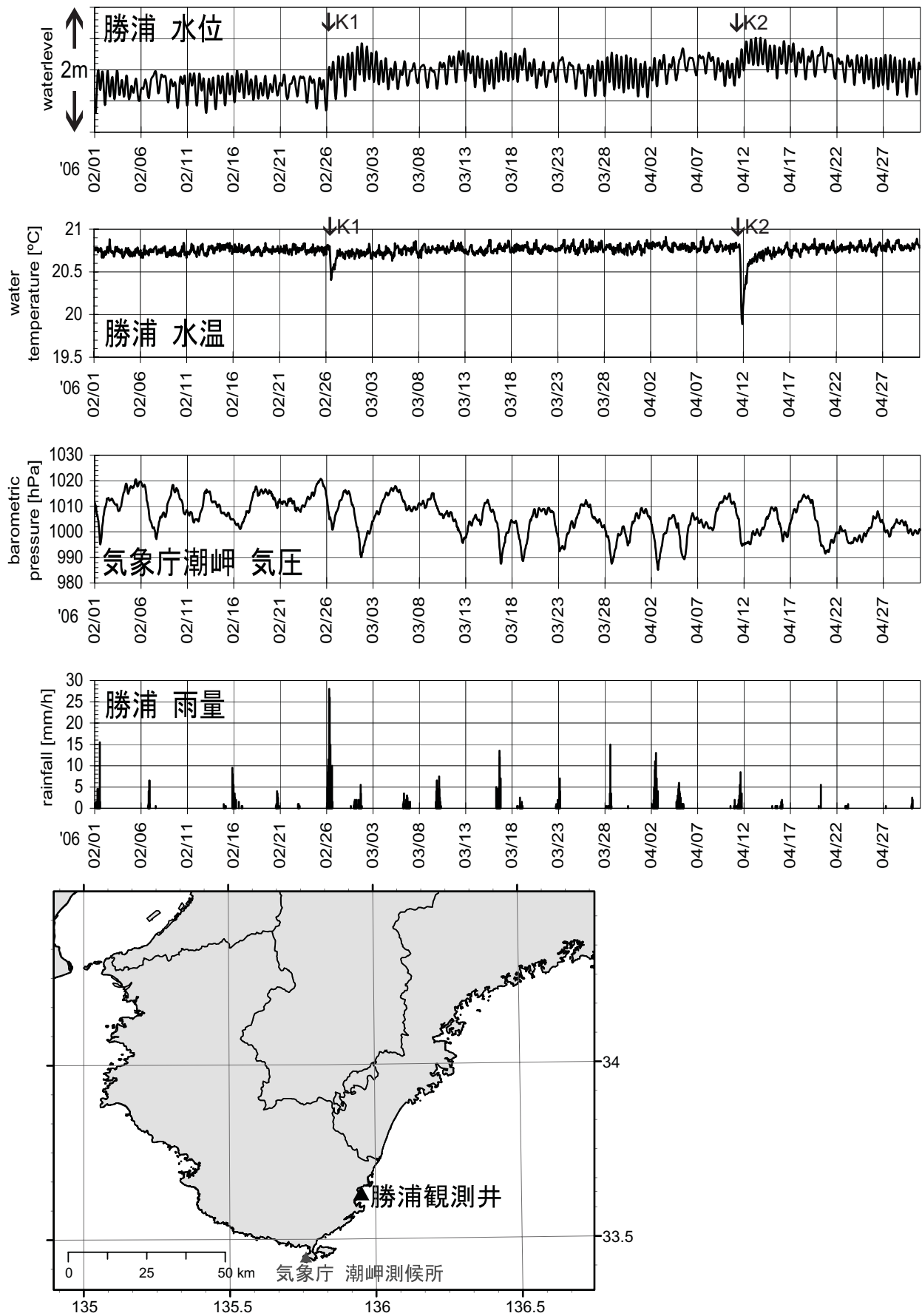
奥道後観測井（第5図）においては、O1の箇所で水位が急低下している。原因を調査中である。その他では概ね良好な観測結果が得られている。

（板場智史・小泉尚嗣）



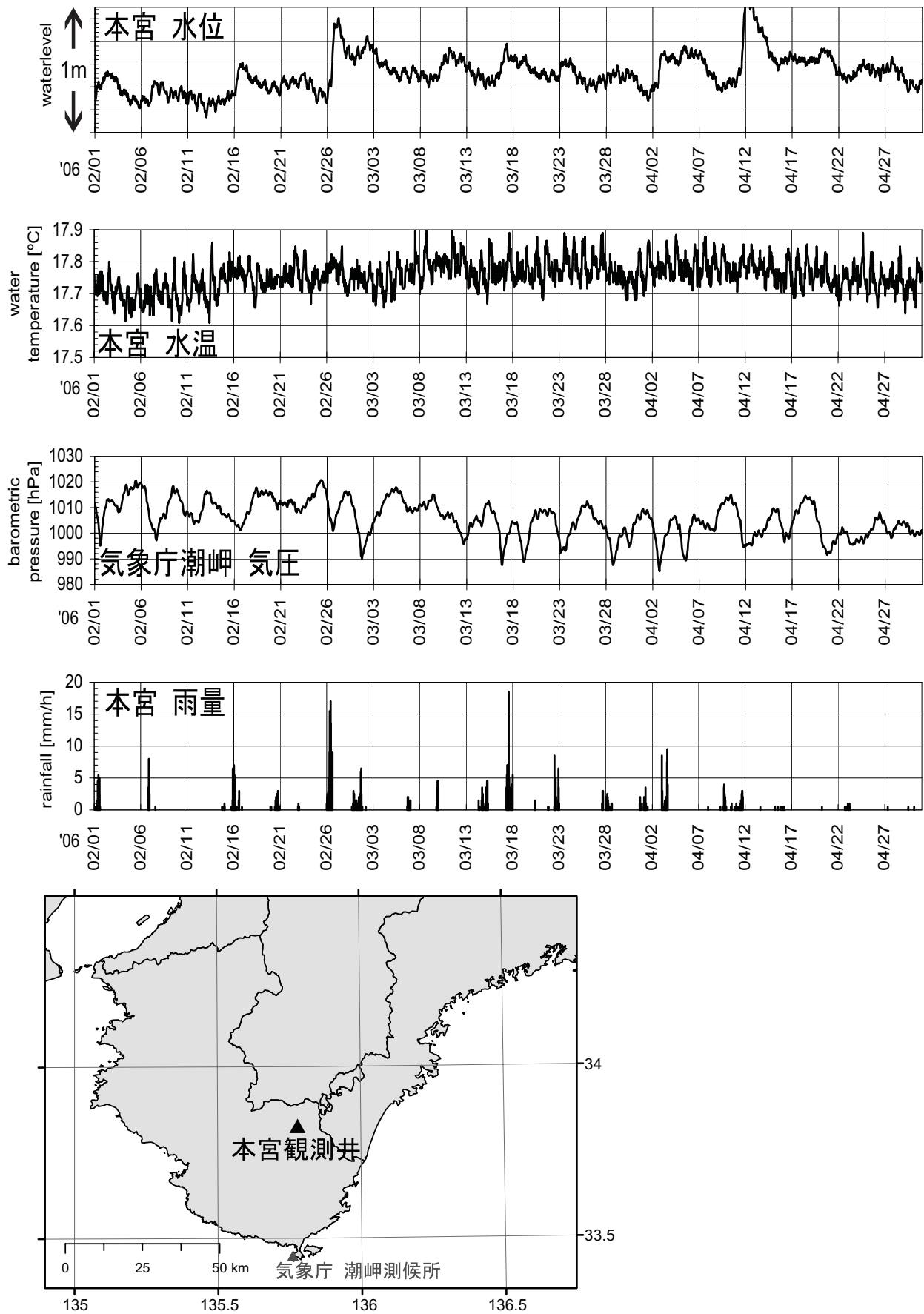
第1図 紀伊半島南部～四国において産総研が地下水連続観測を行っている4観測井の位置図。

Fig.1 Location of the groundwater observation wells in southern Kii Peninsula and Shikoku.



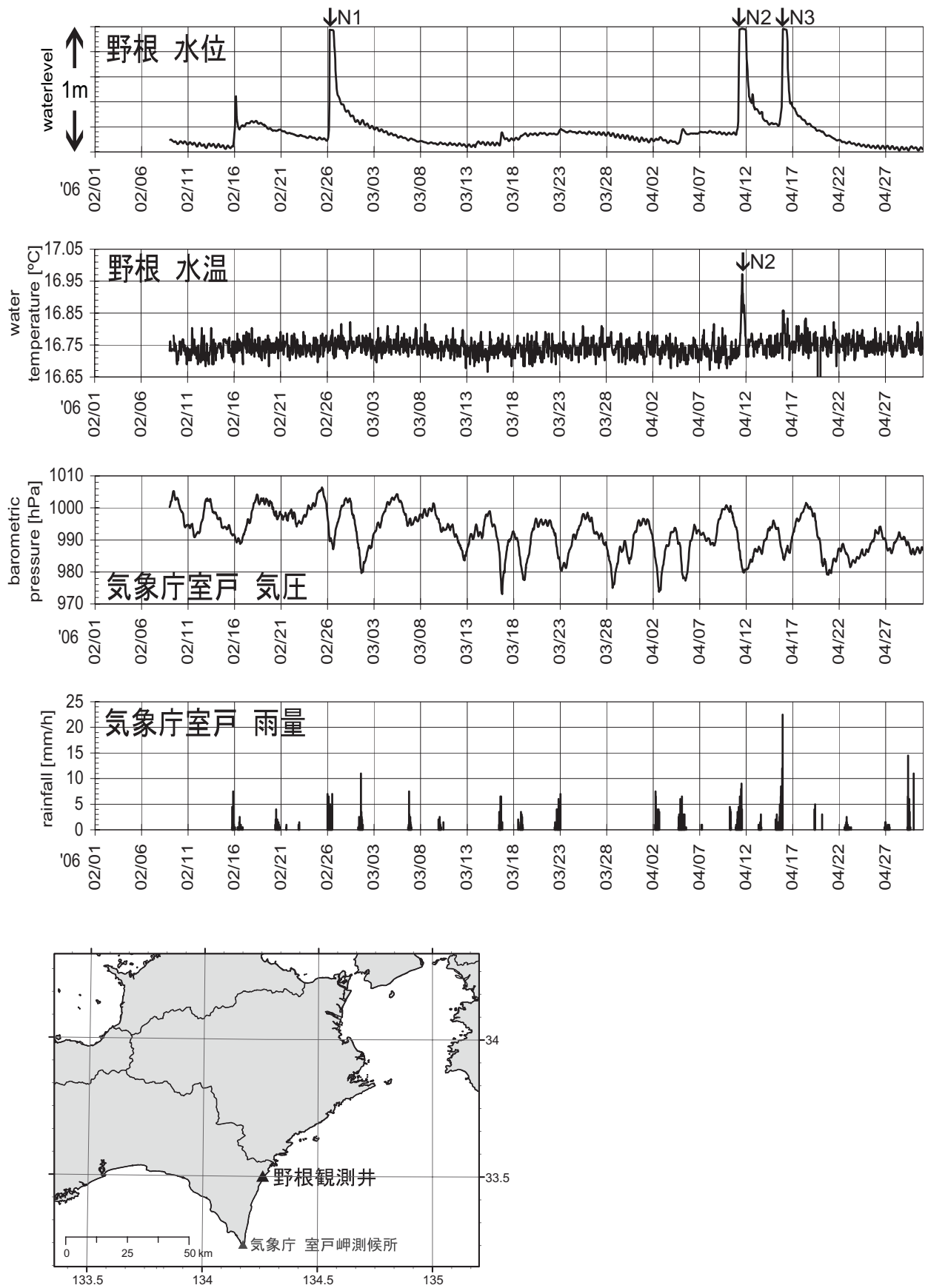
第2図 勝浦観測井における地下水位変化。気圧は気象庁潮岬測候所のデータを用いた。

Fig.2 Observation result of groundwater level in Katsura. Atmospheric pressure change used the data of JMA Shionomisaki AMEDAS observation station.



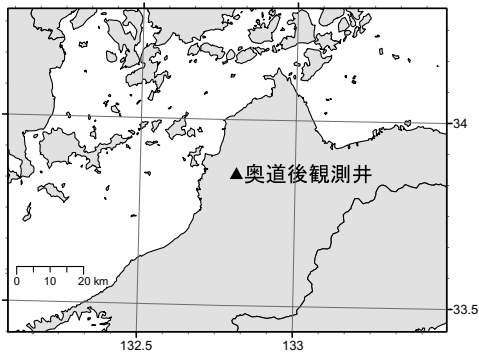
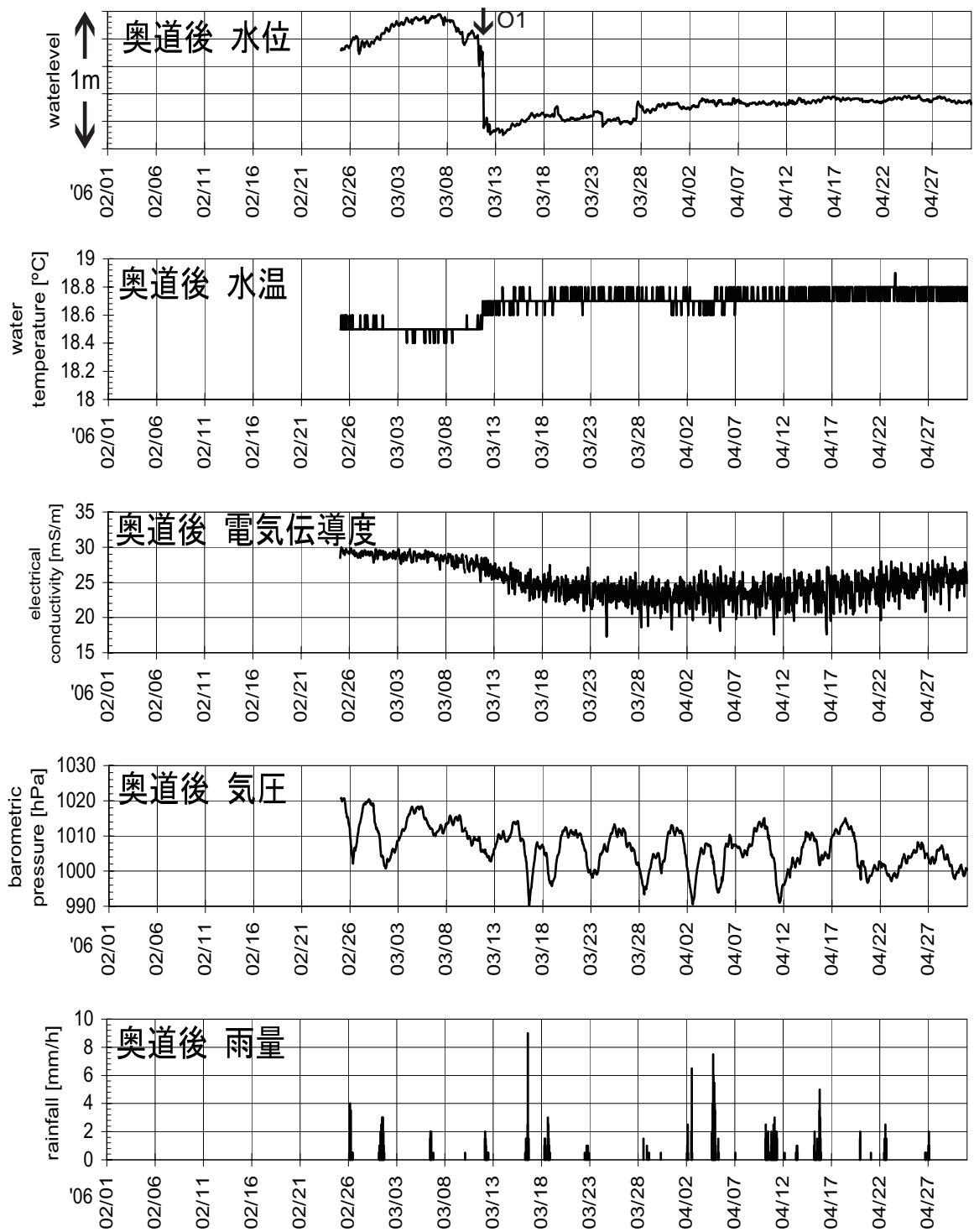
第3図 本宮観測井における地下水位変化。気圧は気象庁潮岬測候所のデータを用いた。

Fig.3 Observation result of groundwater level in Hongu. Atmospheric pressure change used the data of JMA Shionomisaki AMEDAS observation station.



第4図 野根観測井における地下水位変化.

Fig.4 Observation result of groundwater level in None.



第 5 図 奥道後観測井における地下水位変化.

Fig.5 Observation result of groundwater level in Okudogo.